

神様はじめました 第1期 第1話

タイトル: 奈々生、神様になる

キャラ リスト:

桃園 奈々生、巴衛、ミカゲ、鬼切、虎徹、鬼たち、鬼婆、ナレーター、おばあさん、男性、芸者たち

Japanese script from GUREN (kitsunekko.net)

English translation from Gogoanime subtitles

Transcribed and organized by Kiriban

Do not ask for permission to edit. Please read my [FAQ](#) for more usage details.

ナレーター 女子高生桃園奈々生。この物語の主人公。

本来なら、このようにはつらしとした美貌の持ち主である奈々生ちゃん。

今はこう、大変お疲れのご様子。

それもそのはず。奈々生の父はギャンブル大好き。借金だらけのだいどころ。

そりゃあ、こうもなる。

あら、女子的弁当にあらず。

さらに！

「立ち退き強制執行命令に出ています。」

奈々生 え...えっ？！

お父さんはどこ？

おと...えーっ？！

ナレーター とっくに家出の父であります。もはや行方不明。

哀れな奈々生は家を追われ、若い身空でホームレス。

桃園奈々生の運命やいかに？

あ、これ言いなきことかそうゆうじゃないですよ。ちゃんとラブコミです。

最後まで、おときめきあーれ！

奈々生 あのクソ親父！！

ミカゲ 誰か！

奈々生 お？

ミカゲ 助けて下さい！その犬をどけて下さい！

奈々生 し、し。

ミカゲ ハア...おかげで助かりました。

久し振りにこの町に戻ってきたのですが、突然犬に絡まれじゃいまして...

奈々生 犬、ダメなんですか？

ミカゲ ダメなんです。

ハア...私やっぱりこの土地のものには歓迎されてないだなあ...

奈々生 ん？

ミカゲ 君もこの土地の方ですか？

奈々生 あ、はい。

あ、でも、もう住む家なくなっちゃいましたけど...

ナレーター ここで、事情説明。

ミカゲ なんと！お父さんが借金を？

それはさぞ家出したお父さんを恨みでしょうね...

奈々生 あ...

ミカゲ 恥ずかしながら、この私も家を捨てた身なのです。

奈々生 えっ？

ミカゲ あれから数十年。家の皆はどうしているやら？

巴衛なんか私の顔を見た途端に飛び蹴りしてくるに違いない。

奈々生 (考え) トモエ？奥さん？

でも、帰る家があるんですよね。

ミカゲ ん？

奈々生 私なんて、家もなくなっちゃったですから！あははは…。

ミカゲ 私の家を譲りますよ。

奈々生 えっ？

ミカゲ ずっと家を空けてる訳にもいかないし、あなたが住んでくれれば私の肩の荷がおりる。

そして、なにより、君の方が私よりあの「家」に相応しい。

このメモの場所に行って見てください。

ミカゲにいわれて来たと言え、きっと君を迎えてくれます。新しい主として。

奈々生 あ…あの…。

新しい…主？

他に行く当てもなし。騙されたと思って…。

騙された。

もう！大人なんか信用するもんか！

鬼切 ミカゲ様。

奈々生 おっ？

虎徹 お帰りなさいませ、ミカゲ様。

奈々生 えっ？なに？

鬼切、虎徹 ミカゲ様。

奈々生 えあ～！お化け～！

巴衛 ミカゲか…。

奈々生 えっ？

巴衛 今まで…どこに行ってたんだ。

20年間も俺に留守番をさせやがって…。

ブチ殺ス！

奈々生 うわあ～！！

巴衛 おい、こいつはミカゲではないぞ。

虎徹 え？そんなはずは…。

鬼切 巴衛殿！この通り額には土地神のしるしがばっちりございます！

虎徹 それに、ミカゲ様の神気を感じますが。

巴衛 だが、こいつは違う。

おい、女。

お前、何者だ？

奈々生 妖怪神社？！

鬼切 巴衛殿。

巴衛 うん。確かにこのアホ字はミカゲの字だ。

奈々生 行く所がなかったら、ここに住むようにってその人が…。

(考え) って、この人が巴衛？

(考え) 綺麗な顔…。

えっ？

巴衛 お前が会ったその男は、この地の土地神だ。

そしてこの神社は土地神の宮。

その主の座を譲られたということは、お前は土地神の位を譲られたということだ！

奈々生 ん？

鬼切 イヤ！めでたい！

虎徹 社に土地神様が戻ってきて下さった！

鬼切 さっそく宴会の用意を！

虎徹 お召し上がり下さいませ、土地神様！

鬼切、虎徹 ささ！

奈々生 ちょっと待って！

えっ？なに？えっ？なにになに？

私が土地神？神様？

私は女子高校生の桃園奈々生ですけど！人間ですけど！

なんでいつのまに私、神様？

鬼切、虎徹 それは...

鬼切 ... この額の印が付いて時からでございます！

奈々生 額の印？あっ！

あれ？あの時から？あれが印？

巴衛 コイツが神だと？

こんな小汚い娘に何ができる？

せいぜい賽銭の勘定か、庭の草むしりがいいとこだろう！

願い下げだ！

鬼切 しかし、このお方はミカゲ様のご推薦！

巴衛 要らん！つまみ出せ！

奈々生 ちよっと！

 あなた、随分上から失礼なこと言ってくれるわね！

 こんな廃神社、お賽銭入れる人もいないくせに！

 こっちから願ひ下げよ！

鬼切 まあまあ、奈々生様。そう言わず！

虎徹 我らは大歓迎でございます！

奈々生 いやいやいやいやいやいやいやいや！

巴衛 その女をここに置くなら、俺はこの社を出ていく。

鬼切、虎徹 巴衛殿！

巴衛 俺はミカゲの神使だ。

 その女に仕える気はない。

 俺の後釜は、野良犬にでも頼んでおけ。

奈々生 あっ！ちよっと！

 あっ！

 あ…。

 あの…。

 とりあえず、今夜泊めてくれる？

鬼切、虎徹 喜んで！

奈々生 あっ！

 あははは…変な夢見た。

お父さんが家出して、家が差押さえられて、路頭に迷ったら自分の家を譲ってくれる人がいて、行って見たらボロ神社で、お前は土地神だとか言われて、なにそれって思ってたら、巴衛とかいういけ好かない妖怪が「俺は認めん」とか勝手なことほざいて…。

あはははは！どんな夢？

鬼切、虎徹 おはようございます、土地神様！

鬼切 ではさっそく…

虎徹 … お願いいたします！

奈々生 何を？

鬼切、虎徹 土地神様の仕事でございます！

鬼切 まずは庭のお浄めから！

虎徹 悪鬼共に寄せ付けぬように汚れを祓いまするぞ！

鬼切 枯葉をきれいに掃除いたしましょう！

虎徹 次は、拝殿の水拭きでございます！

次は草むしりでございます！

奈々生 これが神様の仕事？！

あの、私土地神になるなんて一言も言ってないんですけど…。

鬼切、虎徹 な…な…なんと仰ります？！

鬼切 巴衛殿がいなくなってしまった以上…

虎徹 … ここを守れるのは奈々生様しかおられませぬ！

鬼切、虎徹 我ら…。

鬼切 鬼切！

虎徹 虎徹！

鬼切 この社の支えとなって参りますゆえ！

虎徹 奈々生様の支えとなって参りますゆえ！

鬼切、虎徹 何なりとお申し付けください！

奈々生 あのさ…。

鬼切、虎徹 はい？

奈々生 あの巴衛って、何者？

鬼切 巴衛殿はミカゲ様にお仕えする神使でございます！

奈々生 しんし？

虎徹 はい、神使。

元々は野狐だったのですが、狛犬の代わりに迎えられたのです。

鬼切 ミカゲ様は犬がお嫌いだったの。

奈々生 あっ、それ知ってる。

奈々生 ハア…泊めてもらってる宿代と思ってやろっと。

あっ、イタ…。

巴衛 草むしりもまともにできんのか？

全く使えん娘だな。

奈々生 何よ？出てったんじゃないの？

巴衛 お前に土地神など務まるものか？

音をあげる前にとっとと家に帰ったらどうだ？

奈々生 帰るとこなんて、ないよ。

巴衛 ん？

奈々生 父親の借金で、家もとつくに没収された。

巴衛 知るか。

奈々生 (考え) 何しに来た？

奈々生 ハア！疲れた！

神様とかなんとか言われてるけど、私いいように使われてるだけな気がするんですけど！

おばあさん (考え) 神様…。

奈々生 あっ！

おばあさん (考え) 娘の子がどうか、元気に生まれますように！

奈々生 (考え) 声が…聞こえた。

今の…あの人の声…。

鬼切 そうでございます！

虎徹 参詣者が祈願する心の声でございます。

鬼切 土地神様は社に座して土地の者の願いを聞くのも仕事なのです。

虎徹 ささ、奈々生様！ 次の仕事でございます！

鬼切 これに目を通されませ！

奈々生 なにこれ？

虎徹 この20年間の参詣者の祈願帳でございます。

奈々生 20年？！

鬼切 巴衛殿が書き残しておいた物です。

虎徹 ミカゲ様がお帰りになったら見て頂くつもりで…。

鬼切 土地神不在で社に来る者も随分と減ったのでございますが…

虎徹 … 巴衛殿がなんとか社を管理されていたお蔭で…

鬼切 … まださっきのように…

虎徹 … 時々お参りに来る者もいるのです。

鬼切 今日奈々生様にして頂いたお仕事全て…

虎徹 … 巴衛殿がずっと一人でこなすされていたものでございます。

奈々生 (考え) 道理で…。

(考え) キレイな字。こんなに細かく書いてある。

えっ？

男性 (考え) 神様、どうか…。

(考え) 神様、どうか願いが叶えますように。

奈々生 (過去) こんな廃神社、お賽銭入れる人もいないくせに！

鬼切、虎徹 お分かり頂けましたか？奈々生様！

奈々生 うん、わかった。

私、やっぱり神様なんて無理です。

鬼切、虎徹 えっ？！

奈々生 何の力もない普通の女子高生だもの。

奈々生 ただ…。

鬼切、虎徹 ただ？

奈々生 彼には挨拶しときたいんだ。

いろいろ誤解してるとこあったみたいだから。

彼のいるところに案内して欲しいんだけど…。

鬼切、虎徹 ハア…ですが…

鬼切 … 恐らく巴衛殿は…

虎徹 … あちらの世界かと。

奈々生 あちらの…世界？

ナレーター あちらの世界。

草むらの影や井戸の中。

この世のあらゆる闇がその入り口。

この世とあの世の狭間にある物の怪達の世界。

闇を覗いた人間はひょっこり迷い込むという。

隣合わせの…。

奈々生 ここが…

ナレーター … あやかしの世界！

鬼切 巴衛殿！

虎徹 巴衛殿はいずれに！

巴衛 騒がしいぞ、鬼切、虎徹。

鬼切 巴衛殿！

虎徹 こちらで？

巴衛 何か用か？

鬼切、虎徹 巴衛殿！

鬼切 嘆かわしいや！ 巴衛殿、神使ともあろうお方が！

虎徹 真っ昼間から遊郭などに入り浸り酒など！

巴衛 ほっとけ。

虎徹 巴衛殿！すぐに着替えられよ！

お前達も出てゆくがよい！

芸者 まあ！

芸者1 鬼火童子が生意気じゃ！

芸者2 お前達が出ていけ！

巴衛 全くだ。

虎徹 社に戻るのです、巴衛殿！

鬼切 そして奈々生様の神使とならせられませ！

虎徹 社が潰れても良いのですか？

巴衛 別に潰れてもよい。

奈々生 あっ…。

巴衛 俺の知ったことか？

 神使などあんな面倒な仕事辞めてせいせいしたわ。

 俺はこれから毎日、ダラダラと欲望のままに生きるのだ。

鬼切 巴衛殿！

虎徹 奈々生様が…

鬼切 … 巴衛殿にお会いしたいと言われるので…

虎徹 … こちらに来ておられます。

巴衛 なに？！

奈々生 帰る家があるのに、あの社はアンタにとってそんなに簡単に捨てられる物なの？

 大事な家じゃない？！

 さようなら。

虎徹 あっ！奈々生様！

巴衛 なぜ連れてきた？！

鬼切 奈々生様がどうしてもとおしゃって！

巴衛 こんな所に人間を連れてくる奴があるか？！

虎徹 奈々生様はただの人間ではありませぬ！

 土地神様でございます！

巴衛 尚悪い！

奈々生 何よ！偉そうなこと散々言っておいてあんなこと！

巴衛 (過去) 別に潰れてもよい。

奈々生 あんなこと言うなんて！

鬼1 嬢ちゃん…。

鬼2 お前さんかい？御影神社が新しい土地神になったっていう人間は？

鬼3 御影が土地神やめたってのは聞いてたけど、その後釜がこんなに…

鬼1 …うまそうな嬢ちゃんとはね！

奈々生 いや～！！

鬼1 食べてくれ！

鬼2 頭からがぶりと頂くじゃ！

奈々生 いや！

鬼切、虎徹 奈々生様！

鬼たち あ？

鬼1 待ちやがれ！

鬼2 あっ…これは巴衛の旦那？

鬼3 お…俺たちあの娘食っちまってもいいですよ？

鬼1 邪魔しねえで欲しいんですけどね。

巴衛 勝手に食え。俺の許可などいらん。

鬼2 いいんですかい？

鬼1 ありがてえ！

巴衛 だが、俺は今めっぽう機嫌が悪いんだ。

鬼たち えっ？！

ああ～！

巴衛 土地神の力を宿した無力な娘。

喻えるなら、鴨はネギと鍋を背負ってきたようなもんだ。

俺には関係ないけどな。

鬼切 ここまでくれば大丈夫。

虎徹 だと思うんですけど…。

鬼切 奈々生様、巴衛殿のところへお戻りください！

奈々生 はー？

虎徹 巴衛殿にはなんとしても神使になっていただくのです！

奈々生 いい。もうあんなの。帰るから私。

鬼切 ですが奈々生様！

虎徹 巴衛殿に神使の契約を結ばせれば…

鬼切 … 巴衛殿は奈々生様に絶対服従！

奈々生 えっ？

絶対服従？そうなの？

虎徹 はい。それも土地神様の能力のひとつでございます。

奈々生 ほほ…それはいいわね。

どうやったらいいの？その神使の契約って。

鬼切 はい。奈々生様が…

虎徹 … 巴衛殿に…

鬼切、虎徹 … 口付けすればよいのです。

鬼切 さすれば、巴衛殿は奈々生様の忠実な僕。

虎徹 やらせてできぬことなどありませぬ。

鬼切 あれ？

虎徹 奈々生様？

鬼切、虎徹 奈々生様！奈々生様！

奈々生 (考え) 恐ろしい！あいつらあたしに何させようとしてたわけ？！

 やっぱり帰るわよ！もう全力で帰る！

 ああ！恐ろしい！

鬼婆 ちよいと、そこのお嬢さん。

 手を貸しておくれてないかい？

奈々生 えっ？

鬼切、虎徹 奈々生様！いずれ！

奈々生 あっ！

鬼婆 その木の根っこに躓いちゃってね！

奈々生 家どこですか？

鬼切 奈々生様！

虎徹 奈々生様！

奈々生 お婆さん、家こちってあってます？

鬼婆 へへへ...あってるよわ！

鬼切 奈々生様！

虎徹 お怪我は？

鬼婆 ぎゃあ～！！

奈々生 なんか来る！

鬼切 鬼婆でございます！

虎徹 逃げましょう、奈々生様！

鬼婆 逃がすかこら！食わせろこら！

 土地神の肉を食べたら、千年は長生きできるわい！

虎徹 虎徹は不味いですぞ。

鬼婆 要らんわい！娘はどこじゃい？！

虎徹 巴衛殿！

鬼切 奈々生様、今虎徹が巴衛殿を呼びに走っております！

巴衛殿が来たら、神使の契約を！

奈々生 ヤダ！絶対ヤダからね！

鬼切 奈々生様、ではこれを！

奈々生 なにそれ？

鬼切 白札でございます。

奈々生 白札？

鬼切 土地神様の能力の一つです。

この札に文字を書き、対象物に貼れば、その字が力を持ち、その通りになります！

奈々生 ほんとに？！

巨神兵になれ！

鬼切 あの、奈々生様。札の威力は奈々生様の能力を超える力はおませぬ。

奈々生 それ早く言ってよ！

(考え) あと二枚！

わああああ！

鬼婆 頂きまあうう！

おのれ！

奈々生 (考え) あと一枚！

巴衛 あの娘、もう食われたか？

虎徹 あっ！巴衛殿！

奈々生様をお助け下さい！

巴衛 なんだ？まだか？

奈々生 (考え) 巴衛、助けて…。

巴衛 ふふ…あいつの泣き顔でも見に行ってやるか。

奈々生 えええっ！高いよ！

鬼切 奈々生様！急がれませ！

鬼婆 へへへへ！見つけたぞ、娘！

奈々生 えっ？！来た！早い！

鬼切 奈々生様！

巴衛 大変そうだな、奈々生。

お前のピンチと聞いて、とんできてやったぞ。

奈々生 巴衛…。

巴衛 高みの見物にな。

奈々生 なああ？！

放して！

巴衛 助けて欲しいか？奈々生。

助けて欲しいのだろう？

奈々生 くっ…。

巴衛 「愚かな私にお許しください、巴衛様」と泣いて頼めば、助けてやらんこともないぞ。

奈々生 だ…誰がアンタなんかに…。

あっ！

虎徹 奈々生様！

鬼切 申されませ！「愚かな私…」

奈々生 ヤダ！

鬼切 「... お許してください」と...。

奈々生 ヤダ！

虎徹 「巴衛様」と！

奈々生 ヤダ！！

鬼切 その一言さえ聞けば...

虎徹 ... お助けするのでしょうか？！ 巴衛殿！

巴衛 ん？

あ...ああ...そうだとも。

言えば助けてやるとも。さあ、言え。

鬼切、虎徹 奈々生様！一言！

奈々生 ヤダ！

虎徹 奈々生様！一言！

奈々生 ヤダ！

鬼切、虎徹 奈々生様！

奈々生 言うもんか！

こんな奴に頭を下げるくらいなら...。

鬼切、虎徹 ああ～！！

巴衛 このバカ！一言言えばいいだけではないか！

つまらん意地を張って死ぬつもりか？！

鬼切 結ばれませ。

虎徹 さすれば...。

奈々生 巴衛...私を助けろ！

巴衛 ハッ！

し...しまった～！！

鬼切 奈々生様！

虎徹 これで...

鬼切、虎徹 ... 正真正銘本物の土地神様となりました！

鬼婆 なんだよ？！わしの獲物を！

巴衛 降りてこい、クソ婆！

巴衛 お前のせいで、また神使などやるハメになったわ！

折角自由を満喫中だったのに！

どうしてくれるのよ？！この！この！

鬼婆 か弱い年老いに何をするんじゃ？！

巴衛 何がか弱いだ！ふざけるな！

鬼切 絵的に...

虎徹 ... とても良くない。

奈々生 巴衛。

巴衛 ああ？！

奈々生 来てくれて...ありがとう。

社に...戻ろう。巴衛。